

## 委員会活動報告書

委員長名 草野 恵美子

<b>【委員会名】</b> 教育課程委員会	
<b>【メンバー】</b> ◎草野恵美子(大阪医科薬科大学)、○高橋郁子(帝京平成大学)、¥萩原智代(日本赤十字東北看護大学)、伊木智子(関西看護医療大学)、入野了士(愛媛県立医療技術大学)、岩本里織(神戸市看護大学)、塩川幸子(旭川医科大学)、戸渡洋子(熊本保健科学大学)、二瓶映美(秀明大学)、松永洋子(国際医療福祉大学)、松原三智子(北海道科学大学)、山田小織(佐賀大学) オブザーバー:副会長 井口理(日本赤十字看護大学)  50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、( )所属名	
<b>【活動方針】</b> 1. 公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム(改訂版)について会員校へ普及する。 2. 2020(令和2)年の指定規則改正後の保健師課程における新カリキュラムの実施状況および達成状況を明らかにするための調査票(案)を検討する。 3. 最新の教育内容・方法について、現場への情報発信を促進する。	
<b>2025(令和7)年度</b>	
<b>達成目標</b>	1. 公衆衛生看護学教育におけるモデル・コア・カリキュラム(改訂版)について会員校に周知し、保健師教育の内容の充実を図る。 2. 2020(令和2)年の指定規則改正後の保健師課程における新カリキュラムの実施および達成状況における調査を実施するうえで、調査内容等について検討を行う。 3. 保健師職能団体との連携を図り、現場に向けた最新の教育内容・方法についての発信を促進する。
<b>活動報告</b>	1. 2025年度第40回夏季教員研修会第2分科会において、「公衆衛生看護学教育モデル・コア・カリキュラム2024改訂版を活用した学修方略～コンピテンシーを意識した実習～」をテーマに分科会を実施した。モデルコアカリ2024のポイント、モデルコアカリ2024を活用した学修方略例「家庭訪問」「健康教育」の実習展開例について説明し、その後、「乳幼児健康診査」の実習展開について意見交換をするグループトークを実施した。参加人数は71名であった。また、モデルコアカリ2024の普及に向けて、同カリキュラムを活用した検討方法について整理を進めている。 2. 「保健師教育課程新カリキュラムの実施と達成状況に関する調査」を計画し、2026年3月9日より会員校を対象に調査を実施中である。 3. 厚生労働省2回(健康・生活衛生局健康課保健指導室、医政局看護課看護教育係)、全国保健師教育機関協議会のブロック研修会2回、市町村・保健所等の保健師を対象とした研修会6回で説明や研修を実施し、モデルコアカリ2024の普及を図った。その他、文部科学省教育課へメールでの報告も行っている。